



第5講 複素数平面(3) 学びのチェックリスト

	項目	知ってた?	使えそう?
1	複素数の表示には「① z と \bar{z} を使う」「② $x + yi$ 」「③ 極形式」の3種類ある		
2	「 \sim が実数」という条件を「共役複素数を用いた関係式」で表す		
3	$\overline{\alpha\beta} = \bar{\alpha}\bar{\beta}$ は \bigcirc が $+$, $-$, \times , \div のどれであっても成り立つ		
4	$z\bar{z} = z ^2$		
5	複素数平面上での円の方程式の表し方		
6	$z\bar{z} - \bigcirc z - \bigcirc \bar{z} + \bigcirc$ への変形		
7	$z\bar{z} - \bigcirc z - \bigcirc \bar{z} = \bigcirc$ から円の方程式を導く		
8	等式 $ z - \bigcirc = z - \Delta $ は直線の方程式である		
その他、気づいたことなど			

高2理系数学TH(中高一貫)

QRコードをスマートフォンで読み取ると、
 河合塾専用サイト(お申込み)へアクセスできます。
 (※一部サービスは、お申込みが必要です。)

切り取って、下の [提出用] の方を授業後に提出してください。

神戸三宮校 2020年度 II期 STH理 (中高一貫)

氏名

第5講 複素数平面(3) 学びのチェックリスト

提出用

	項目	知ってた?	使えそう?
1	複素数の表示には「① z と \bar{z} を使う」「② $x + yi$ 」「③ 極形式」の3種類ある		
2	「 \sim が実数」という条件を「共役複素数を用いた関係式」で表す		
3	$\overline{\alpha\beta} = \bar{\alpha}\bar{\beta}$ は \bigcirc が $+$, $-$, \times , \div のどれであっても成り立つ		
4	$z\bar{z} = z ^2$		
5	複素数平面上での円の方程式の表し方		
6	$z\bar{z} - \bigcirc z - \bigcirc \bar{z} + \bigcirc$ への変形		
7	$z\bar{z} - \bigcirc z - \bigcirc \bar{z} = \bigcirc$ から円の方程式を導く		
8	等式 $ z - \bigcirc = z - \Delta $ は直線の方程式である		
感想、メッセージ、相談など			